

Introduction of new doctor

## 新任医師のご紹介

2020年5月より、脳神経外科に新入職医師を1名迎えましたので、ご紹介させていただきます。これからよろしくお願いいたします。



鈴木 遼  
Ryo Suzuki

脳神経外科

【卒業大学】杏林大学

【資格】

日本脳神経外科学会専門医  
麻酔科標榜医

City checkup appointments are open

## 西東京市の健診・検診予約開始

佐々総合病院では西東京市の健診・検診を受け入れております。今年度は新型コロナウイルスの感染予防対策とし、完全予約制とさせていただきます。受診券がお手元に届きましたら、お早目のご予約・ご受診をお勧めいたします。

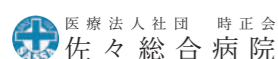
### ■受け入れ健診・検診一覧

乳がん検診・子宮頸がん検診・特定健診・一般健診・単独大腸がん検診・  
単独前立腺がん検診・単独肝炎ウイルス検診

### ■ご予約・お問合せ

佐々総合病院 健診センター 042-461-8383  
(祝・祭日、年末年始を除く月～金曜日9時～16時)

期間中は電話が混み合うためお待ちいただく可能性があります。予めご了承ください。



住所 〒188-0011 東京都西東京市田無町4-24-15  
電話番号 042-461-1535 (代表)  
042-461-3333 (産婦人科)  
042-461-8383 (健診センター)

ホームページ情報

<http://www.sassa-hospital.com/>  
右のQRコードを読み込んで頂くと  
サイトにアクセスできます。



編集・発行／広報委員会  
発行日／2020年7月1日

# ささ舟-SASABUNE-

患者様×地域×佐々総合病院をつなぐコミュニケーションマガジン

お家で公開講座は  
いかがですか



## Contents

特別対談

佐々総合病院DMAT隊 × 院長

診療科特集

内科・乳腺外科

公開講座オンライン公開

職員が通う名店

新任医師紹介

西東京市の健診予約開始

# Vol.32 佐々総合病院

2020.07.01

ご自由にお持ち帰りください  
Feel free to take

# 特別対談

佐々総合病院 DMAT隊 × 佐々総合病院 院長  
竹内俊介 田々井史郎 木村総司 鈴木隆文

新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔み申し上げますとともに罹患された方々には心よりお見舞い申し上げます。

当院はハード面などから院内での積極的治療を行っていませんが、専門分野を持つ職員が新型コロナウイルス対応の指導・協力に出動しています。今回は、今年2月に新型コロナウイルスのホットスポットとなった横浜港クルーズ船に当院DMAT隊が派遣された件について、鈴木院長が話を伺いました。



鈴木：改めて2月の横浜港クルーズ船派遣、本当にお疲れ様でした。突然新型コロナウイルスのホットスポットに行くことになりましたが、率直にどう感じましたか。

竹内：厚生労働省から派遣要請をいただいた時は、まず何を求められているか認識できなかったです。自分たちは地震などを想定した訓練の経験はありますが、「ウイルス」という訓練では想定していなかった脅威に対しての出動に不安はありつつも、出動することが社会貢献にも繋がると考え、院長に派遣の件を相談しました。

木村：私も最初チームで話し合った時は急で驚きました。地震などが発生した際は、要請以前から「行くことになるだろう」と考えますが、まさかクルーズ船に自分が行くとは思いませんでした。けれども、何か自分に手伝えることがあれば貢献したいという気持ちはありました。

田々井：通常の災害とは異なるので戸惑いはありましたが、DMATの他メンバーはもちろん、院長をはじめ病院全体が派遣に賛成してくれたことが出動する上で大きな後押しとなりました。

鈴木：現場で何をすべきか不安な反面、怖さもあったと思います。それを乗り越えて現場に行ってくれたことが本当にありがたいと感じました。また

想定外の出動の中で日頃からの訓練に意味はありましたか。

木村：病院で実施している大規模災害訓練でも、本部を立ち上げて情報を集約しますが、その際に用いるクロノロジーが院内訓練と同じ記載方法だったので、記録担当になった際も速やかに対応できました。日頃の訓練が活かされたことで訓練の必要性を改めて感じました。

竹内：派遣された段階では、コロナウイルスは今以上に感染の仕方や感染力などに不明な点が多く、現場に入る自分たちもウイルスに関する情報がほとんど解らない状態でした。しかし、そのような状況下であっても、一緒に行く隊員を感染させる訳にはいきません。幸い、私は感染対策に長いこと携わっており、ICD※2を持っているので、DMATとしての立場と感染対策をやってきた経験を組み合わせ、少ない時間の中で防御策を考えて現場に行けたことは非常に良かったと思います。

鈴木：続けて現場で担当した役割についても話を聞かせてください。

木村：現地に行くと、「船内に入り患者対応するチーム」と「患者さんを病院に搬送するチーム」のどちらかを担当していただきました。

※1…クロノロジー (chronology) / 災害時に発生した出来事を時系列順に記載する。



医師 竹内俊介

佐々総合病院 救急・災害部部长。専門は外科・消化器外科。日本DMAT隊員の他、西東京災害医療コーディネーターも務める。

看護師 田々井史郎

佐々総合病院 看護師。日本DMAT隊員。

業務調整員 木村総司

佐々総合病院 薬剤師。日本DMAT隊員。

【DMAT(ディーマット Disaster Medical Assistance Team)とは?】

医師、看護師、業務調整員(医師・看護師以外の医療職及び事務職員)で構成され、災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた災害医療チームを意味します。

田々井：選択制ではなく割り振られる形で、私たちのチームは患者さんを病院に搬送する業務を担当しました。派遣にあたり感染防止対策室の皆さんの十分なバックアップもあり、幸いにもメンバー全員感染することなく活動できました。

竹内：当時は「ちょっと重装備かな」というほど感染対策をしていきましたが、後になってウイルスの感染威力がかなり強いことが分かってきたので、今振り返るとリスクを考えて重装備で行って良かったなと思いますね。

鈴木：クルーズ船から感染者3名を関東地区内の2病院に搬送したと聞きました。本当にお疲れ様でした。そして良い機会なのでもう1つ。今年度から新設した救急・災害部の部長を竹内医師にお願いしていますが、最初に取り組みたいことを教えてください。

竹内：普段の救急医療をやっていく上でも、災害拠点病院として災害が起きた際にも、職員1人1人が自分がどう動く必要があるかを考えられる環境づくりをしたいと思います。例えば今後は、夜間での災害を想定した訓練など、今まで以上にハードルを上げた訓練も取り入れていくつもりです。

鈴木：災害に関しては、このメンバー以外にも、担当できる人材を増やしていきたいと考えています。もう1つは新型コロナウイルスについてで、当院はハードを含めた様々な事情から積極的な診

察をすることはできませんが、他院が新型コロナウイルス対応で診れなくなった患者さんの救急受け入れを積極的に行っていくことで、当院の役割を果たしていきたいと考えています。

田々井：お話を伺う中で、災害や救急に対して積極的でない病院もある中で、救急・災害部門を設立していただけたことは、自分たちの頑張りや職員の姿勢を評価してもらえた所もあると思うと、非常に励みになります。

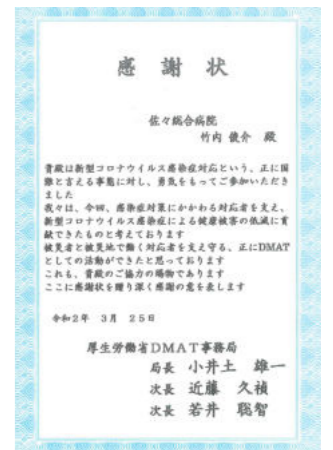
鈴木：今回のクルーズ船派遣での働きが評価され厚生労働省から感謝状をいただき、TMGからも功労者表彰される運びとなりました。今後とも皆さんには災害医療の最先端に立ち、佐々総合病院の職員を先導する活躍を期待しています。今回はありがとうございました。

3名：ありがとうございました。(以上)

最後になりましたが今回のクルーズ船派遣にあたり出動を後押ししてくれた、みなさまに感謝申し上げます。

佐々総合病院DMAT隊一同

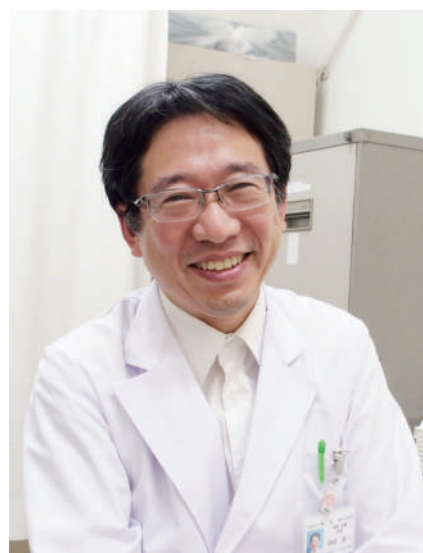
厚生労働省DMAT事務局より  
いただいた感謝状



※2…ICD (Infection Control Doctor) / 感染症や感染制御、院内感染対策を専門に取り扱う医療従事者。

# 診療科特集 内科

2019年12月に西尾医師（内科部長）、2020年4月に古田島医師が加わり、佐々総合病院 内科は更なる発展を目指していきます。



西尾真一  
【役職】内科部長  
【卒業大学】信州大学  
【資格】医学博士  
日本内科学会認定医  
日本内分泌学会専門医・指導医・評議員  
日本糖尿病学会専門医・指導医  
日本老年医学会専門医・指導医・代議員  
日本肥満学会専門医・指導医・評議員  
日本甲状腺学会専門医

## ■西尾医師のコメント

以下の3点を目標に日々診療にあたっております。

- ①医師として、内科部長として、地域の患者さんに信頼され愛される内科を創り、患者さんに寄り添う診療を目指します。
- ②総合内科医として、新型コロナウイルスを否定出来ない発熱患者をはじめとした、様々な急性期疾患に対応していきます。
- ③糖尿病専門医として、大学病院から続けている急性期疾患の原因となる糖尿病、甲状腺疾患などの慢性疾患に対応し、周辺地域の糖尿病患者さんの早期発見、ケアを目指し、患者さんに寄り添う診療を行って参ります。

## ■古田島医師のコメント

皆様の“困った”をまず、受け入れる。それが私の外来です。拝見し当該専門医への橋渡しをいたします。また、“あちこち悪いけど複数の科にかかるのはもう大変で…”そのようなご高齢の患者様を総合診療医として一か所でバランスをとっていくことも私の外来の役目です。

お具合の悪いときは外来からノンストップで入院までお引き受けし、専門医と相談しながら診療にあたります。専門は喘息、肺気腫 花粉症などのアレルギー。”とりあえず、佐々に行って相談してみよう”と皆様に思っただけの外来を目指し、全力でつとめて参ります。



古田島理佐  
【卒業大学】東京女子医科大学  
【資格】医学博士  
日本内科学会総合内科 専門医  
アレルギー学会 専門医  
日本医師会産業医

## ■総合診療科と内科、双方の専門性を高めます

これまで総合診療科として、内科全体を幅広く診て参りました。今回、内科の専門医が2名新しく加わり、内科としての専門性が向上するのはもちろん、総合診療科としてもレベルアップしていくことが期待されます。西尾医師の掲げる「患者さんに信頼され愛される内科創り」に向け、総合診療科も協力していく所存です。

名誉院長/総合診療科部長 藤間利之



藤間利之  
【所属】総合診療科・乳腺外科  
【役職】名誉院長  
総合診療科部長  
【資格】日本外科学会専門医  
マンモグラフィ読影認定医

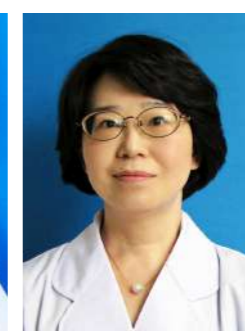
## ■内科・総合診療科の更なる飛躍に向け前進していきます。



竹内 俊二  
【所属】総合診療科  
【役職】顧問  
【資格】  
日本外科学会認定登録医  
日本救急医学会専門医  
身体障害指定医



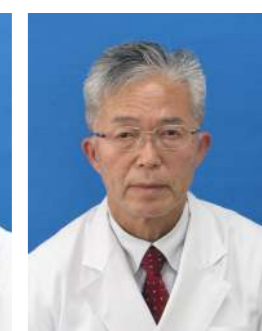
平山 令子  
【所属】内科  
【資格】医学博士



大川原 奈々  
【所属】内科・糖尿病内科  
【資格】医学博士  
日本糖尿病学会専門医  
日本内科学会認定内科医  
日本医師会認定産業医  
総合内科専門医



北郷 邦昭  
【所属】内科



當銀 正幸  
【所属】内科  
【資格】  
日本循環器学会専門医  
日本内科学会総合内科  
専門医

Medical department special feature

## 診療科特集 乳腺外科

2019年11月、京田医師（乳腺外科部長）の入職に伴い、主に乳がんにおける診療・手術の強化を進めています。

### ■京田医師のコメント

乳腺外科では乳癌治療の進化に合わせ、それぞれの患者さんに最適と考えられる治療を提供すべく努力を重ねております。

手術室には術中にセンチネルリンパ節の迅速診断が可能となるOSNAシステムを導入し、大学病院と同水準での手術が提供できるようになりました。また、外来には最新の吸引式生検システムを導入し、より確実な診断を目指しております。

乳癌の治療にあたっては、早期に癌を発見・診断し、適切な治療を受ける事が最善と考えています。少しでも気になる症状がありましたら、いつでも当科を受診して下さい。



京田茂也  
〔役職〕部長  
〔卒業大学〕東京慈恵会医科大学  
〔資格〕医学博士  
日本外科学会認定医・専門医  
日本乳癌学会認定医・専門医

### ■2020年10月18日

日曜日に乳がん検診が受けられます！

### JMS ジャパン・マンモグラフィーサンデー

「ジャパン・マンモグラフィーサンデー（JMSプログラム）」は、子育て、介護、仕事など多忙な平日を過ごす女性のために10月第3日曜日に乳がん検診を実施し、検診を受けやすい環境づくりを目指す取り組みです。

今年度は10月18日（日）に乳がん検診を実施します。佐々総合病院では7月1日（水）から予約受付を開始いたしました。詳しくはホームページをご覧ください。

佐々総合病院ホームページ  
<http://www.sassa-hospital.com/>

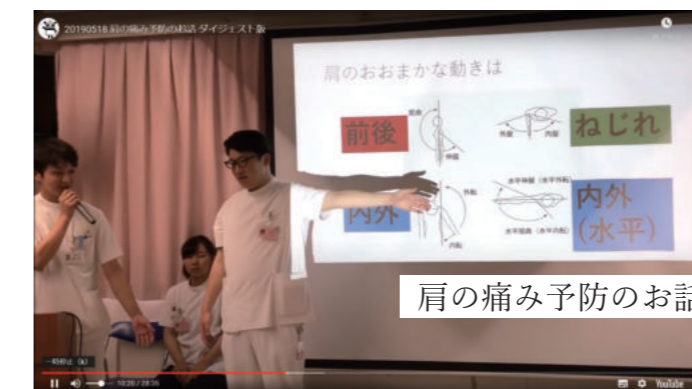


Medical open lecture video release

## 医療公開講座 動画公開

現在、院内で開催する医療公開講座は、新型コロナウイルス感染予防対策の一環で全面中止とさせていただいております。この事態を受け、当院では昨年度開催した医療公開講座の動画データを一部インターネットで配信することにいたしました。

動画をご覧になりたい方は、佐々総合病院ホームページよりアクセスいただけます。



佐々総合病院 医療公開講座  
<http://www.sassa-hospital.com/pr/open-lecture.html>

QRコードからも  
アクセスできます



Local Famous Store

## 職員が通う名店

24時間365日、交替で働く当院の職員が勤務の前後や休憩時に通う名店を紹介！今回は当院から徒歩3分の所にある「武蔵野食堂」をご紹介します。



取材でいただいたパスタは、クリーミーな明太子クリームと多めのエビで見た目以上に食べ応え充分。味の美味しさはもちろん、スタッフの方々の温かい接客が非常に居心地が良く、当院の女性職員から推薦の声が多かったのも納得のお店です。ワインにも力を入れているそうなので、お酒がお好きな方にもおすすめです。

店名：武蔵野食堂 住所：〒188-0011 東京都西東京市田無町4-3-13  
営業時間：平日：11:00～15:00/17:30～22:00 土日祝：11:30～22:00  
定休日：月曜日 お問合せ：042-451-2855

※新型コロナウイルス感染拡大により、営業時間・定休日が記載と異なる場合がございます。